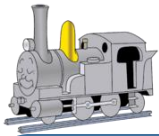




住所：東京都中央区日本橋大伝馬町13-8
メディカルプライム日本橋小伝馬町3階
TEL:03-3639-3110 FAX:03-3639-3112

2021年6月 診療カレンダー

- 1. 内科・生活習慣病
- 2. 心臓病・糖尿病
- 3. 睡眠時無呼吸症
- 4. 土曜日診療
- 5. 発熱外来



・祝 開院2周年！
これからもよろしく
お願いいたします
・コロナワクチン接種
開始します



ホームページ
院長ブログ公開中

日	月	火	水	木	金	土
30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	1	2	

休診日 午後休診 18時最終受付

一般外来	9:30-12:00	16:00-19:00
発熱外来	12:00-13:00	15:30-16:00

「今月の言葉」
人生とは自転車のようなものだ
倒れないようにするには走らなければならない
(アインシュタイン)



新型コロナワクチンの個別接種を6/22～開始します

- ＜概要＞
- ・ワクチン ファイザー社製 ・費用 無料
- ・3週間空けて、2回接種 ・1回 0.3ml 筋肉注射

＜対象者＞

- 東京都中央区に住居票のある方
 - (1) 新型コロナワクチンの接種券のある方
 - (2) 基礎疾患を有する方→申請を行い接種券を取り寄せてください
東京都中央区に住居票のない方
 - (3) 当院通院中の方で接種券をお持ちの方
- ※(1)(2)が優先となります

＜予約方法＞

電話・WEBにて、翌日～20日先まで1人1回まで予約
1回目接種時に3週間後の予約を院内で行います

・予約専用電話(6/15～) 03-5843-6255

平日(月～金) 10時～13時

・WEB予約(6/14～) こちらよりご予約ください

＜接種時間・方法＞

・火曜日～金曜日 午前10時～、11時～

※枠は順次拡大予定です

・時間通りにお越しください(原則キャンセル不可)

・接種券、予約票、本人確認書類をお持ちの上来院ください

・肩の出しやすい服装でお越しください

・接種後15分間(または30分間)の経過観察をいたします



林明子さんの「はじめてのおつかい」では、「みいちゃん」の動作や表情、心の声からそのドキドキした心情がていねいに描かれていますし、かこさとしさんの「どろぼうがっこう」ではどろぼうがっこうの先生と生徒たちの間抜けなやりとりと最後のオチが楽しくユーモラスに描かれており、これは大人でも楽しめる絵本ですね。

絵本は時代をこえて人々に愛されつづけている不朽の名作が数多くあります。私がこどものころ読んだ絵本は今でも広く読まれています。例をあげれば「きかんしゃやえもん」「しょうぼうじどうしゃじぶた」「ちびくろさんぼ」などです。「ちびくろさんぼ」では数頭のどらが喧嘩して、ぐるぐる追いかけて回しているうちにみんな溶けてバターになり、それをサンボが家に持ち帰ってお母さんにホットケーキを作ってもらって食べるというお話。この奇想天外な作品を皆さんもきつとご存知でしょう。

印象に残っている絵本のひとつに「きかんしゃやえもん」もあります。やえもんという名の蒸気機関車のお話で「しゃっしゃっしゃっしゃっだしゃっだしゃっだ」「けらけらけら」「ぷっすん ぷっすん ぷっすん」といった蒸気機関車の擬声語?もユニークですし、ピカピカの最新型の特急列車たちにばかにされて、ぷんぷん怒っているおじいちゃん蒸気機関車の哀愁を帯びたストーリーも切ないのですが、廃車されそうになったところを鉄道博物館のおじいさんたちに救出され、子供たちによってキレイに磨かれたあと、博物館に大事に展示され、こどもたちの人気者になって、うれしそうにこどもたちと遊ぶやえもんのハッピーエンドのお話です。この「きかんしゃやえもん」の作者が阿川 弘之ということを知りましたが、ちょっと気難しいイメージの阿川さんがこんな優しい絵本を書いていたとは意外でした。多くの素敵な絵本がベストセラーとして受け継がれ、こどものころに読んだ本を子供に読み聞かせるというのはとても幸せなことですよ。

我が家では絵本を読み聞かせるのは子供たちが寝る前、我々親も1日の仕事、家事を終え疲れ果てている時間帯でした。こどもたちがニコニコしながらお気に入りの絵本を手で「今日はこれ読んで〜♪」とやってくると、(これからこの長い本を読み聞かせるのはちょっと大変だな)と思ったものですが、ちょこんと座って絵本を楽しんでいるあどけない姿を見ると疲れも吹っ飛びます。そんな息子と娘も中学生になり、すっかり大きくなり、もう読み聞かせなどをすることはなくなりました。

今子育て真っ最中の方も、そうではない方もぜひ絵本の世界を楽しんでみてください。

日々の生活に追われ、忘れてかけていた大切なもの、優しい気持ちにきつと気がつくはずですよ。

皆さんのお気に入りの絵本はどの作品ですか？



絵本の世界

「はらぺこあおむし」の作者エリック・カールさんが先日91歳でこの世を去りました。「はらぺこあおむし」は我が家でも子供たちが小さいころ、繰り返し読み聞かせをした思い出深い絵本です。久しぶりに本棚に並んだ絵本を数冊手に取ってみました。育児に奮闘の日々、大変だったけれど、楽しかったかけがえのない日々を思い出し、あまりの懐かしさに胸がいっぱいになりました。

絵本には人の心をとらえる独特の魅力があります。赤ちゃん向けの作品をひとつとってみても、使われる言葉には独特の響きやリズムがあり、描かれる絵も美しく夢があり、こどもだけでなく大人たちも幸せな気持ちにしてくれます。

我が家の子供たちに人気だった絵本は、「はらぺこあおむし」「きかんしゃやえもん」「しょうぼうじどうしゃじぶた」「はじめてのおつかい」「こんとあき」「ちびくろさんぼ」「ねないこだれだ」「ぐりとぐら」「どろぼうがっこう」「ふうせんねこ」などでしょうか。だるまちゃんシリーズ、そらまめくんシリーズも大好きでした。

わたし個人的には絵がかわいらしく、あたたかくて優しいお話の林明子さんや、かこさとしさんの作品がとてもしょ好きでした。

